

第7回eモニターアンケート 「多世代住宅補助金について」

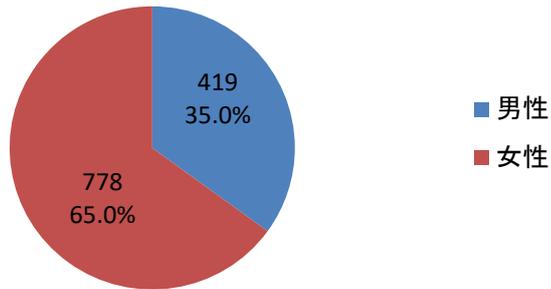
実施期間
回答数

令和3年9月28日 ~
1197 人

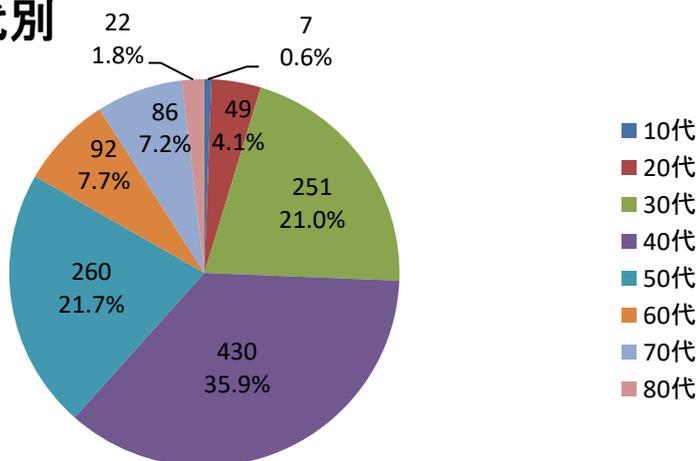
令和3年10月5日

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人

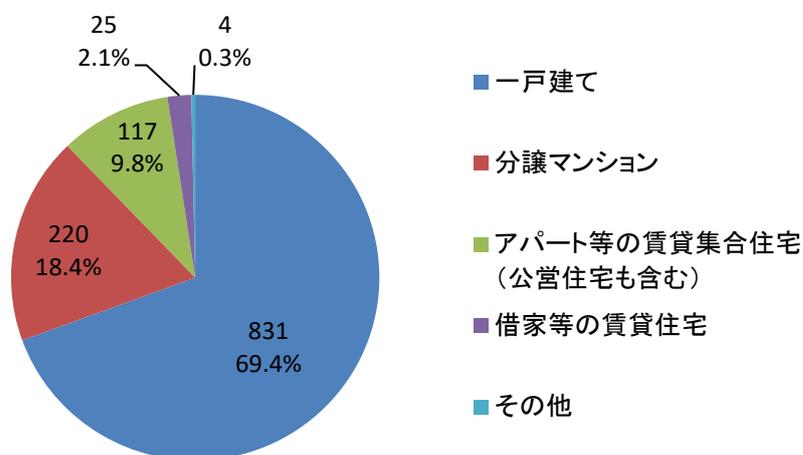
性別



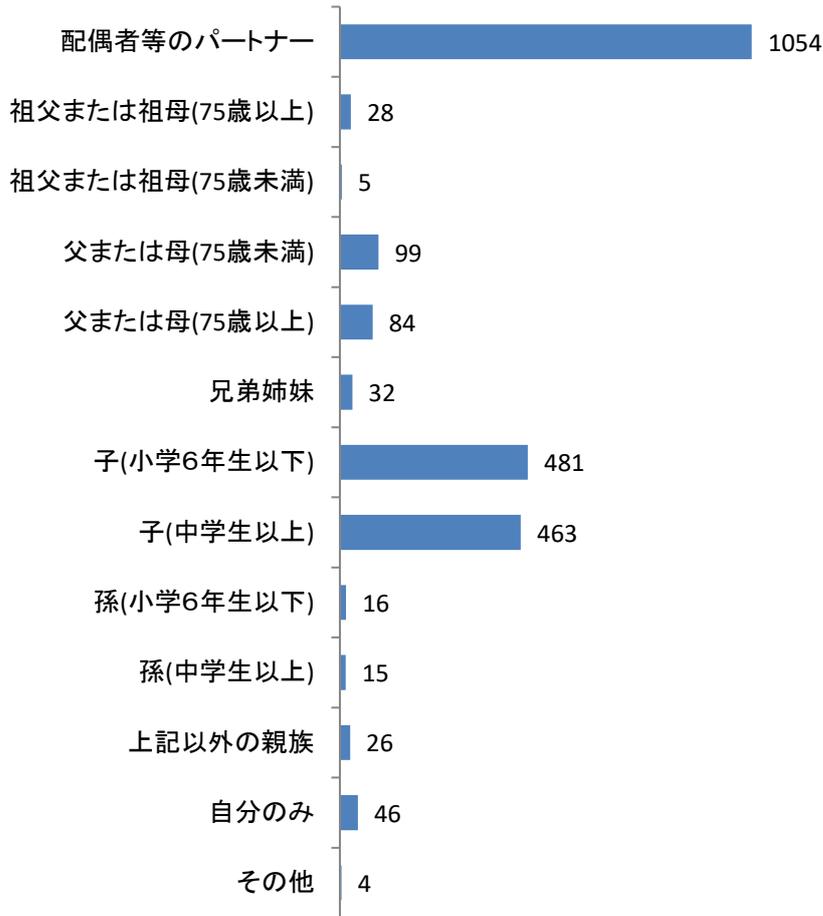
世代別



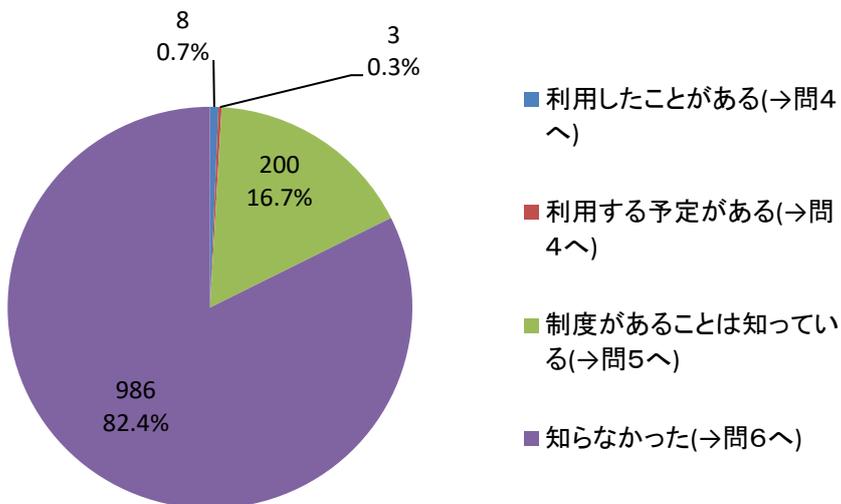
問1: 現在住んでいる住宅



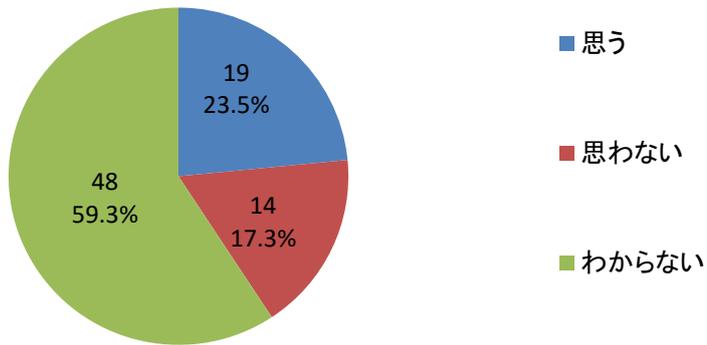
問2:一緒に暮らしている人の構成(複数回答)



問3:「多世代住宅補助金制度」について

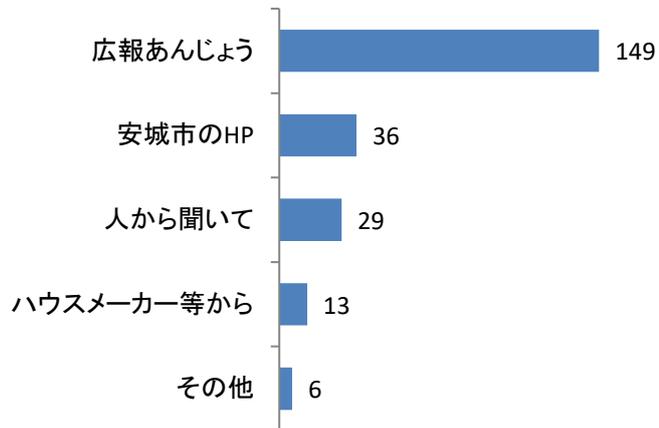


問4:「多世代住宅補助金制度」はわかりやすいと思うか



※問3で「利用したことがある」「利用する予定がある」と回答した人

問5: 制度をどこで知ったか(複数回答)

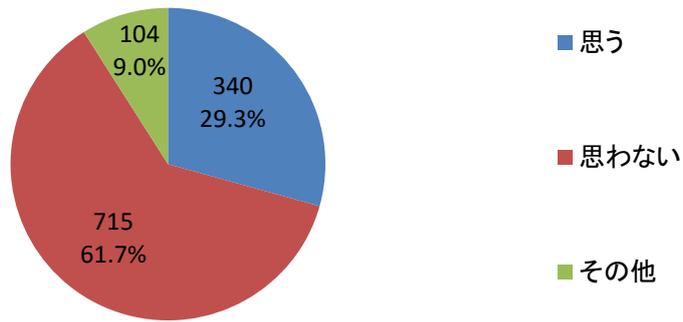


※問3で「利用したことがある」「利用する予定がある」「制度があることは知っている」と回答した人

【主なその他意見】

- ・ハウスメーカーのチラシ

問6: 補助金をきっかけに多世代での同居・隣居・近居を検討したいか

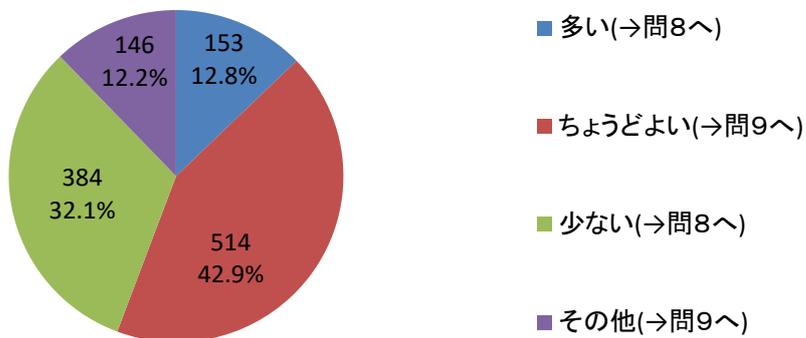


※問3で「制度があることを知っている」「知らなかった」と回答した人

【主なその他意見】

- ・すでに同居・隣居・近居をしている
- ・対象に該当しない
- ・わからない
- ・金額が増えれば考える
- ・すでに予定あり

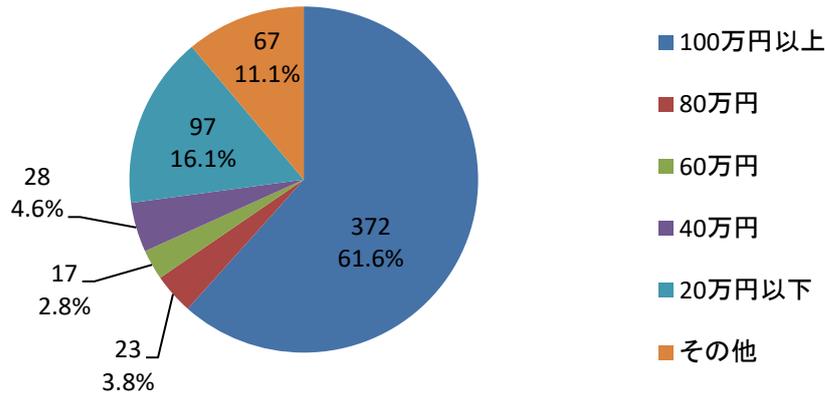
問7: 多世代住宅補助金(同居の場合)の補助金額について



【主なその他意見】

- ・わからない
- ・必要ない
- ・制度の趣旨に賛同しかねる

問8: 妥当な補助金額について

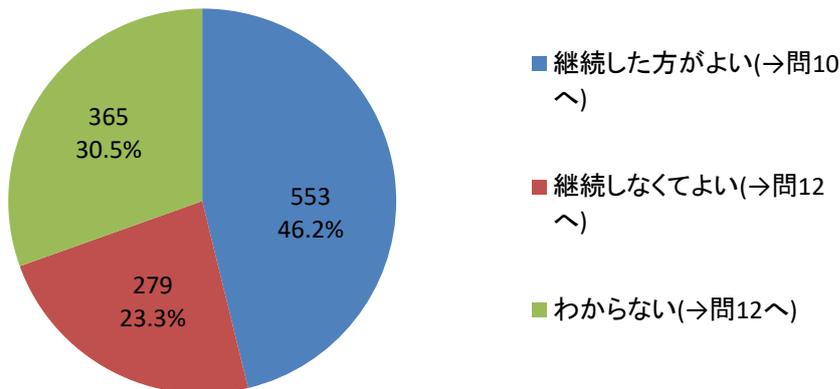


※問7で「多い」「少ない」と回答した人

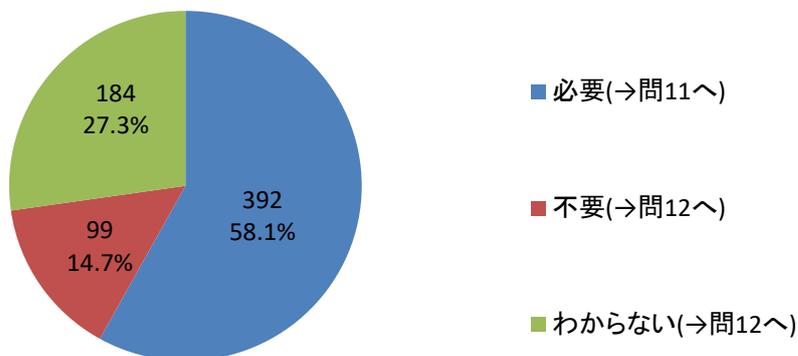
【主なその他意見】

- ・ケースバイケース
- ・必要ない
- ・わからない
- ・世帯年収等考慮
- ・総額の@%、上限@万円

問9: 補助金の実施期間について

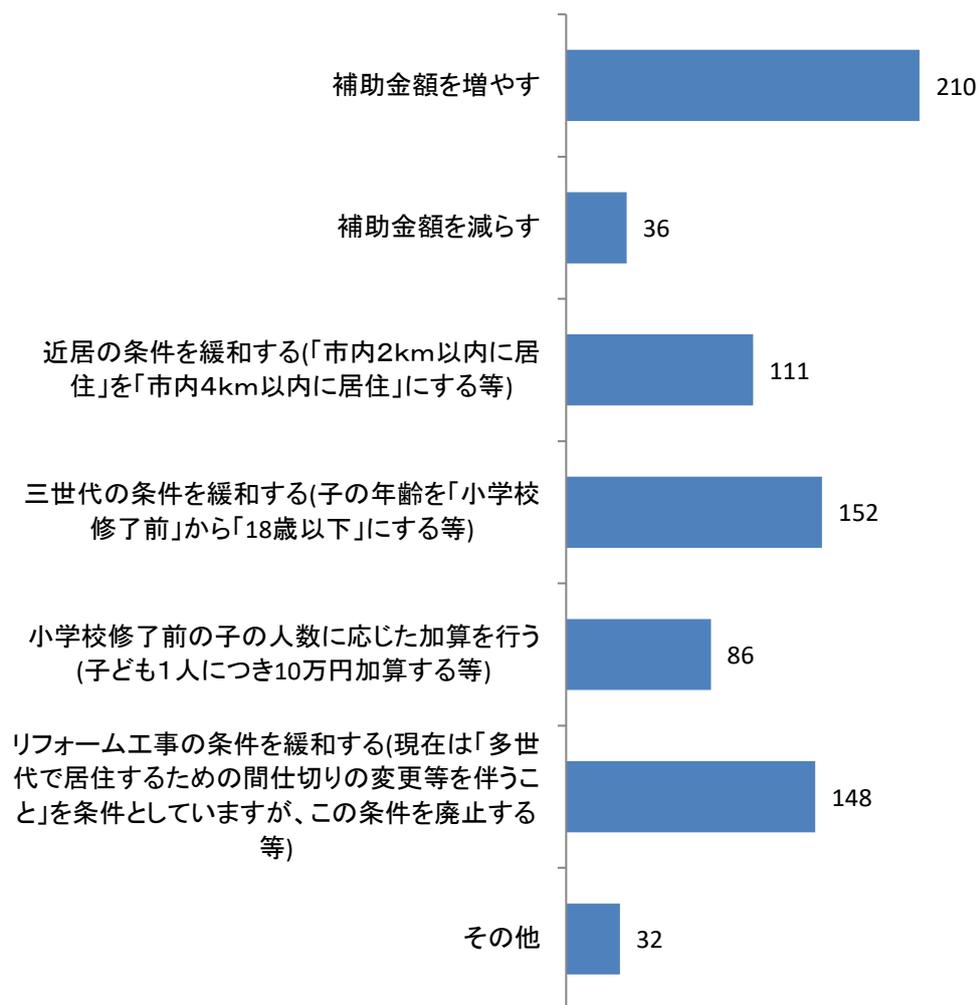


問10: 補助金の見直しについて



※問9で「継続した方がよい」と回答した人

問11:見直しの内容(複数回答)

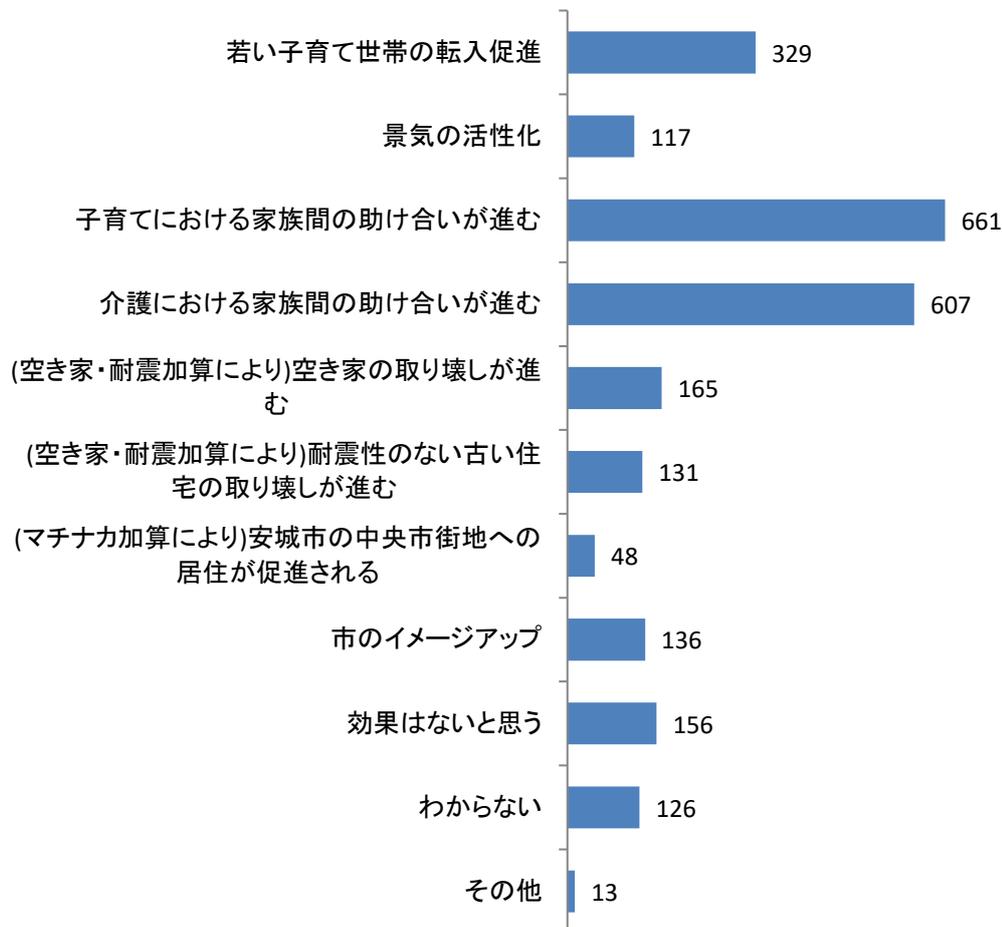


※問10で「必要」と回答した人

【主なその他意見】

- ・多世代同居に必要なリフォーム工事の内容に応じた金額に見直す。
- ・補助金額を一律にした方がいいと思います。
- ・財源と対象人数に合わせて補助額を継続か増減すべきか見直す。
- ・補助金が出る事で促進されているのかどうかを検討すべきだと思います。
- ・世帯年収。
- ・弱者に限定する。
- ・介護度によっても加算したり、多世代住居する理由によっても加減算する。
- ・子供と暮らすだけでも2世代に認めてほしい。
- ・借入金の金利負担の低減施策。
- ・居住面積を増加する場合への補助をすること。

問12: 多世代住宅補助金で期待される効果(複数回答)



【主なその他意見】

- ・多世代同居による各世代間の確執増加。上記のようないいことは起こらない。
- ・古い家屋の伝統的価値の見直しができる。
- ・子と親が依存しあい、独立性がなくなり、コミュニティが育たない。
- ・孤独死が減りそう。
- ・子供が同居する事により、親が死んだ後、空き家になる心配が解消される。
- ・地域の活性化。
- ・世代間のコミュニケーションが増加する、高齢者が生きがいを持てる。

問13：多世代住宅補助金制度について等、ご自由にご記入ください。
多世代が同居、近所に住みたくても仕事の関係、転勤などで一緒に住めない状況だから、そうした人達にとってはこの制度は納得いかないです。
私は認知不足で知りませんでした。どのようなPRをしていて、どれくらいの方が利用されているのか気になります。本当に必要な方に行き渡れば、良い制度で続けても良いと思います。
私は子供夫婦、孫と同居していますが今は若い人は共働きが当たり前で子供だけでなく祖父母も孫の面倒を見ているので同居、隣に世帯を持つ子供夫婦はお互い助かっています、多少の問題はあっても同居、近くに住むことはいいことだと思います。
多世代で暮らしているだけで補助金が貰えるのは、貰えない側からしてみれば羨ましく感じる。コロナ禍の今、多世代だけ多くの補助金を貰えるのも不平等である。差別化をはかるよりも、市民が平等に喜ぶような取り組みをして欲しい。
100万ほどの補助金だと、この制度があるから同居するという気にはならないと思います。同居することになって補助金が出るからラッキーとしか思わないため、多世代住居を促進したいのであれば金額なり制度なりを見直したほうが良いと思いました。
同居できる環境の地元の方が有利な政策だと思う。他府県から就職で安城に転入してきた人が利用するのはハードルが高いと思う。
安城市には地主が多いため、金銭的な援助は必要のない方が多く、多世帯住宅を建てた方全てに補助金は必要ないと感じる。税金で選別してはどうかと思う。
補助金は何かを実現させるためのインセンティブであり、何を目的としているのかははっきりしないので善し悪しがわからない。要するに子育て、介護を親や子にかけずけることで、介護や保育等に係る税金を減らす効果があるということであれば、しっかり目的を明示すべきだし、それならば、ハードでなくソフトに補助すべきかもしれない。行政として目的をあいまいにしたまま、近居・同居などといって何かを進めるのはマイナンバーカードのやり方と同じなのではないか。また、税金を使うのであれば効果を検証すべきで、やらなければ著しく公平を欠くバラマキなのではないかとも思う。
15年先の話なので、今は検討すらしていませんでした。安城市や国、県、町内会など、どんな補助金制度があるのかアンフォーレで教えてくれるスタッフがいれば、又、講習会などあれば参加したいです。
補助金がきっかけの同居はなかなか進まないと思います。他の理由で同居、近隣住み、することになったが、補助金があるなら対象条件を検討してみようかな、という位だと思います。
若い世代にとって有難い制度であると思います。たまたま娘が祖母にあたる私の母親が近くに住んでいる為、制度を利用させていただきました。当初知らなかった制度でしたので使うことが出来て良かったです。戸建てとマンションと同じ補助金額にすべきではないかと思いました。現在購入金額が戸建てもマンションも大差がない地域があるので見直しが必要ではと思います。
補助金があるから家を建てるとか買うことはないように思う。リフォームにしても必要だからリフォームするのであって、補助金の効果はほとんど無いように思う。ばら撒くだけの気がしますね。
同居のみならず、隣居及び近居を対象にしているため、今後の家族の暮らし方に合っているように思います。なお、隣居及び近居の補助率を上げた方が、利用者にとっては選択の幅が広がるかと思えます。マチナカ加算については、周辺部の購入価格とのコスト比較が考えられるため、メリットを感じられるほどの加算額があるとよいと思います。
親はそれぞれ市外で暮らしていて、その地域で仲間もいます。自分たちもですが、どちらかがその生活を捨てて、新しい環境で生活することは難しく、補助金もそれを考えるほどの金額では無いと思います。
良い制度だと思うので続けてほしいが、税金の負担とのバランスではやめた方がいいと思う。その一方で対象を拡大し子供との同居のみ(年齢制限廃止)で2世代と認めてもらえれば、リフォームにも使えるので住宅業者の助けになるし、安城への子育て世帯の転入のきっかけになると思う。
多世代住宅よりも、核家族の住宅リフォーム補助があれば、修繕して、長く住み続けていけると思えます。そちらに補助を回してもらいたいです。
多世帯同居が増えれば、空き家が発生しにくくなり良いと思うが、経費的にそう簡単ではないと思う。現在田舎の場合、同居といっても土地に余裕があり敷地内に別家屋を建て居住するケースが多い。将来人口減少が避けられない時代に家屋ばかり増え、いずれ空き家になる予想が田舎でも考えられる。家の考え方を根本的に変えないと、この繰り返しになるのではないか。

<p>都度、柔軟な制度の見直し。間仕切り変更を求めるなら増額を望む。</p>
<p>今回初めて「多世代住宅補助制度」について知りました。 現在、核家族化が進んでいて、それに伴った問題が増えてきていると思います。子育てしながら働くことの難しさ、高齢者だけで生活する不自由さなどです。多世代で居住することは、煩わしさ以上にメリットが大きいのではないかと感じます。ある程度の距離間を保ちながら、同じ屋根の下で生活することは、若い世代、高齢者それぞれが助け合うことができます。 この補助制度を利用した方がどれくらいいるのかが知りたいなと思いました。70万という額はもしかしたら少ないのかもしれませんが。</p>
<p>調べてみたら、リフォーム時におりるとのこと。ちょうど1年前に2世代世帯でしたが知らなかった。正直、この制度があろうとなかろうと、同居等するかは変わらない。ちょうど同居していて、この制度があるなら申請しよう程度な気がする。</p>
<p>光熱費の削減や子育てや介護など助け合いが見込める制度だと思う。</p>
<p>この制度の事を全く知らなかった。親子共に助け合える、とても良い制度だと思う。もっと宣伝すべきだし、継続して欲しい。</p>
<p>金額も少ないので、この制度があるから多世帯の住宅を検討する人はいないと思う。税金の無駄遣いだと思う。</p>
<p>こういう制度があることを初めて知ったが、目的がよくわからない施策だと感じた。 昔から住んでいる世帯に有利な制度を用意するのはある程度理解するが、街が古くなれば刈谷や岡崎に住民が流出して施策を打ちにくくなっていくことは明らかだと思う。 他にも利用率の低い制度やサービスに対してアンケートで聞き取りしたほうが、いいと思います。補助制度は多い方がいいのはもちろんですが、制度が多すぎれば改廃が追いつかなくなり、行政側の手間が増えて、結果的に住民へのサポートが追いつかなくなり本末転倒になると思います。</p>
<p>今すぐやめてほしい。個人の自由だし、不平等です。この補助金があるからと同居なんてしません。</p>
<p>制度があったことすら知りませんでした。毎回思いですが、アンケートをいただくと色々な制度やイベントなどあることを知ります。広報に載っているかと思いますが、なかなか読む機会がないのもったいないことを感じています。</p>
<p>子育て世代はとにかくお金が無い！金額はよくわかりませんが、ある程度補助金支給してあげるのは今後も必須だと思います。リフォームは、10年に一度は外壁等やる事になると思います。短期間で済む問題ではなく、ずっとやってもいい事案。リフォーム補助金に期間を設けない方が良く思う。</p>
<p>いつから始まったのか分からなかったの、知る機会になりました。補助金が上がれば二世帯住宅を検討する機会が増えるのではと思います。</p>
<p>一部の限られた人のための制度だとも思います。</p>
<p>逆にその分、高齢者を介護することでの大変さも出ると思う。現と一緒に住んではいないが、近くの地域包括の人が本当に言うだけで仕事しない。訪問しますと言って何年もしてない。なんのためなの？そんなのだと、こういう制度ができて子育て、高齢介護する側の負担だけで心配しか増えないと思う。</p>
<p>自分の両親に何かあった際、同居を考えるひとつのきっかけにはなると思いました。</p>
<p>建て替えや引越しの予定が無いのでまったく知らなかった。長く同居や近居ができる世代でないと意味がないのと、制度を利用してすぐに同居解消とかなないように制度をしっかりと作り込んでほしい。税金の使い方を制度を作る側の人達が自分のお金だと思うくらいに当事者意識をもって作ってほしい。</p>
<p>親世代と暮らすのであれば、資金的な援助は得られずとも少なからず生活において支援がいる場合が多く、税金から支援金を捻出するのはどうなのかと思います。</p>
<p>PRを多いにやって下さい。建築会社に周知すると共に、パンフレットを置いてもらう依頼をして下さい。</p>
<p>今の時代や価値観から考えて、多世代で住むメリットよりデメリットの方が大きいので必要性を感じません。多世代で住みたいと思う人の割合は低いのではないのでしょうか？</p>
<p>補助金とは異なる方法で安城市の魅力伝えたい。補助金が理由で移住してきたりの効果はあるかもしれないが、それが安城市の魅力とは言えない。</p>

<p>家族の在り方はさまざまなので、ある形には、補助金というのは不自然だと思う。家族、家、個人的なことだと思うので、そこへの税金投入ではなく、保育園拡充や学童、介護保険以外のサービスをカバーできる市の予算があるとよい。この補助金は家族になにもかも背負わせる補助金になりかねない。</p>
<p>この程度の補助金額の有無で同居の決定は左右されない。もらえるならラッキー！ぐらいだ。この内容に税金を投入する意味が分からない。土地があれば嫌でも使うし、近くに住んだからといって高齢者の面倒を見るとは限らない。</p>
<p>私自身は子供がないため関係のない制度だが、お金を使う以上使いっぱなしでなく、効果を確認し訂正していく姿勢が大事だと思う。</p>
<p>初めて知ったので、これからよく調べて自分の生活環境に活かせるかを検討したいと思います。このアンケートがあったので知ることができました。ありがとうございました。</p>
<p>空き家解消に繋がるならいいと思うが親の家が将来の空き家となるのではないか。 今は核家族化が進み、以前より個々のライフプランを尊重するようになり、多世帯で住むことが少なくなったと思います。そのため補助金額は減らず、又はなくして、違うことに使用してほしいです。</p>
<p>今後介護が必要になった両親を安城に呼び寄せた時、このような制度がある事はありがたいと思うが、実際に呼び寄せ制度を利用する方たちがどの程度いるのか。疑問です。</p>
<p>若い子育て世帯の転入促進の為、給食費等の無料化等々にお金を使って欲しい。</p>
<p>夫の両親と同居するために戸建てを建て直しました。ネットでたまたま制度を知り利用できてありがたかったです。各工務店やハウスメーカーが知って施主に伝えるのが効率がいいかなと思いました。部屋を増やす分、バリアフリーを考えた構造など、多世帯と各家族世帯とのマイホームの平均額の違いとか元にとすると助成額の目安になるのかと考えました。ただ、そもそも助成がない地域も多いし、他の市よりも高額だと思うので、改めて安城は手厚いかなと思います。ありがとうございました。</p>
<p>非常に良いと思う。親子が近居に住むと、互いにメリットがある。古い住宅を建て直すのも、補助金があるとしやすい。可能なら、そうしたいと思っているので継続してほしい。</p>
<p>個人的には多世代で暮らしたいという希望はないので制度を利用する気はないが、事情はさまざまだと思うので希望する世帯のためには是非継続してほしいと思う。親世代の元に転入してきたいひと達にとっては、ハードルが低くなって有難い制度だと思います。</p>
<p>知らなかった制度です。必要としてる人、これを機会に利用しようと思ってる人達が増えれば良い制度となりますね。私も頭の片隅に覚えておきたいと思いました。</p>
<p>制度を作った時の狙いと現状とのギャップを明確にし、狙いの方向に全く向いていないのならば、廃止すべきだと思います。</p>
<p>若者とお年寄りの会話が高齢者の認知症予防等、医療費削減にもなると思います。</p>
<p>安城市は同居、敷地内同居がもともと多いと思う。補助はいらない。他の財源に使ってください。</p>
<p>自分の世帯は直接該当しませんが、一般的な状況から多世代住宅を推進することで、「空き家の減少」「家族間介護」などが進み市政としては良い方向だと思います。積極的なPR等が必要であると考えます。</p>
<p>2キロ以内の近居でも補助が受けられるとは手厚く安心できると思います。</p>
<p>多世代住宅補助金制度は、高齢者を引き取ったり、ねたきり老人の介護するための部屋の増築する資金になるが100万以下では足りないと思う。</p>
<p>マンション建設ラッシュの安城において、不平等、不明瞭な制度としか思えない。</p>
<p>この補助金を利用した親族の話では、手続きに何度も市役所に赴いたということです。書類を整えて提出に行くと、また新たな必要書類等を言われて出直したことが何度もあるということでした。必要な書類等をきちんと明示して、一回で申請ができるように対応を改善してほしいと思います。</p>
<p>二世帯、三世帯住宅で暮らしていても、無関心、無干渉、介護放棄、疎遠…という家庭を安城市内でたくさん見てきた。また一緒に暮らしたために関係が悪化した例もあり、なんとも言えない。</p>
<p>多世代で一緒に住むと助けあったりできると思うけど、義父、義母とはやっぱり一緒に住むのはよほどの人じゃないとできないと思う。自分の親ならいいかもしれないけど。子育ての方に予算を回してほしい。</p>
<p>空き家の取り壊しや耐震性のない古い住宅の取り壊しを進めたいのであれば、別の制度や補助を検討してみてはどうでしょうか。</p>
<p>リフォームの場合の、条件緩和を期待します。</p>
<p>住宅への補助ではなく、多世代の近居や同居で子育てや介護をサポートしている場合の減税など、制度の恩恵を広く受けられるようなものだとよい。</p>

<p>多世代で暮らすことはいろいろな面で助かり理想的であると思う反面、精神的には大変だと思う。</p>
<p>多世代同居世帯増加に伴い、一人暮らし世帯の減少、子育て環境向上等効果は大きいと思う。</p>
<p>生活ルールやマナーは家庭内で教育すべきで、基本は親からであるが、共働きで子供の世話ができない家庭では、祖父母がその助けをするのがよい。しつけの出来た子供を育てるには、多世代居住が有効と考える。</p>
<p>多世代で住みたい方より核家族で家を立てたい方が多いと思います。調べた時に制限が多いとも感じました。子育て世代への補助などの方が転入や消費の面では上向くと思います。</p>
<p>高齢者だけの単世帯又は一人暮らしの高齢者が増えているのでこれから先も多世代住宅補助金は必要だと思います。制度の存在を知らない人も多いと思うので もう少し告知が必要かなとも思います。</p>
<p>目的が広すぎる気がします。もっと条件や対象を明確にしてはどうでしょうか？若い人を呼ぶ目的なら、子世代が移り住むことを条件に2世帯改築用に最大100万円を補助とか。助け合いなら、独り住まいの高齢者を対象にある区域に移り住むことを条件にするとか。</p>
<p>我が家は3世代で住んでいますが、10年以上前に二世帯住宅を建てており、この制度を知ったとき、もっと早くあればと残念でした。短期間で100万よりも長い期間で多くの方が利用できる補助制度にしていだけたらと思います。タイミングのよって差があるのは如何なものかと思います。</p>
<p>私たち夫婦の親がどちらも近くに住んでいないし、今後どこに定住するかも決まっていない。ただ、いつか家購入を考えた時、補助制度がある地域の方が、すんなりここにしようと決められる一つのメリットだと思う。身内が近くに住んでいると、子育て、介護、たくさんメリットがあることを結婚のときに知りたかった。知る機会が欲しかった。</p>
<p>安城市は昔からこの地に住んでこの地から離れない人たちが多く、そのため祖父母や義父母と暮らすのが当たり前と考えている人が多いと思うのでこの制度も考えたのだろうが、この発想は他の都市から来て暮らす家族(父母子供だけの世帯)の事は何も考えていない。そもそも昔から住んでる人が多い地域では多世代で暮らすのが当たり前と考えているから補助金は必要ないと思う。安城市に定着して暮らしてほしいと思うなら、まずは新たにこの地で暮らし始めた人達が安城市にずっといたいと思わせる制度や補助が必要だと思う。</p>
<p>若い世帯は共稼ぎが多いので安心して子育てするには親の援助が必要になるかと思う。自分は同居は考えていないが、もしそのような多世代同居を選択するなら補助金は大変ありがたい。</p>
<p>リフォームするのに、安城市の企業を利用することで双方にメリットがあるようにしたら良いと思います。</p>
<p>「子どもから高齢者までの世代が安心していきいきと暮らし社会で活躍できることを目的に」とありますが、住宅補助のお金をもらっても「活躍」できる市民はいない。そもそも、何を指すのか目的から考え直し「廃止」も視野に入れて検討をしてください。</p>
<p>この補助金制度について知らなかったのですが、子育て世代や介護が必要な方たちにとっていい制度なのでは、と思いました。ただ、古い住宅を取り壊すにはかなり費用がかかると思うので、取り壊す際には補助金をもう少し増やしてもいいのかなと思います。</p>
<p>空き家や老々介護を減少させる効果もあり、大いに多世代住宅促進を行うべきである。</p>
<p>制度があるなら利用しようと思われる人もおられるとは思いますが、同じ安城市民への福祉としての公平性に欠ける気がします。</p>
<p>補助金を活用できた家族の声(利用して良かった点等)を、広報に載せることで、補助金制度の周知を図ると良い。</p>